

22j. Windows Server 2012 システム管理 (Active Directoryの管理を含む)

1. 研修要領

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室(確定)
・講師	富士通九州システムズ(FJQS)講師:中村 訓子氏
・開催月日	平成28年11月30日(水)～12月2日(金)《3日間》
・実施時間・日数	9:30～17:30(7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

Windowsの基本操作ができる方。今後、Windows Server 2012の運用管理を行う方。

3. カリキュラムの概要

Windows Server 2012のシステム管理の基本(基本設定、各追加機能の環境設定、Active Directoryの導入、管理など)機能の中で、ワークグループ環境で実現できる機能を中心に、講義と演習によって学習します。演習では、インストール直後に行う、コンピュータ名やIPなどの基本設定から、ファイルサーバなどで必要なアクセス許可の設定、DFSの構築、バックアップ、Active Directoryの構築やオブジェクトの管理、グループポリシーでの制御からバックアップまでを体験して頂きます。本コースはWindows Server 2012のシステム管理を一通り行われる方にお奨めのコースです。

4. カリキュラムの詳細 3日間(21時間)

科目	時間	科目の内容
1. Windows Server2012の概要	1.0 Hr	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2012 の新機能 ・Windows Server 2012 のエディション ・Windows Server 2012 のライセンス体系
2. Windows Server2012の導入	4.0 Hr	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows Server 2012 のシステム要件 ・Windows Server 2012 の導入準備 ・Windows Server 2012 のインストール ・インストール後の作業について ・起動と終了 【演習】
3. Windows Server2012のシステム構成管理	1.0 Hr	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバーの管理ツール ・役割と機能の追加と削除 【演習】
4. Active Directory のドメインサービスの構成	4.0 Hr	<ul style="list-style-type: none"> ・Active Directory とは ・Active Directory の構成要素 ・ドメインコントローラーの役割 ・複数ドメインコントローラーの構成 ・Active Directory のインストール 【演習】
5. オブジェクトの管理	3.0 Hr	<ul style="list-style-type: none"> ・ローカルユーザーアカウントとグループの管理 ・Active Directory オブジェクトの管理 ・システム管理権限 ・ユーザー権利とアクセス許可 【演習】
6. ディスクとファイルの管理	3.0 Hr	<ul style="list-style-type: none"> ・ファイルシステムの特徴 ・共有とアクセス許可 ・クォータ ・分散ファイルシステム ・ディスクの管理 ・記憶域プール 【演習】
7. グループ ポリシー	3.0 Hr	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ ポリシーとは ・グループ ポリシーオブジェクトとリンク ・グループ ポリシーの適用範囲 ・グループ ポリシーの設定 ・グループ ポリシー適用の管理 ・グループ ポリシーのテンプレート 【演習】

8. サーバーの運用管理	2.0 Hr	・バックアップツール ・Active Directory の保守 ・システム状態の監視 ・リモート管理 【演習】
計	21.0 Hr	

5. 使用教材

Windows Server2012 基礎 & Active Directory (FJQS)

Windows Server2012 基礎 & Active Directory 演習問題集 (FJQS)

6. 到達目標

本コース修了後、次の事項ができることを目標としています。

1. Windows Server2012のインストールができる。
2. Windows Server2012 Active Directory のインストールおよび各種設定ができる。
3. Windows Server2012のユーザ管理、グループ管理ができる。
4. ファイルシステム、グループポリシーを理解し、最適な環境設定ができる。運用管理ができる。
5. 運用管理ツールを使用してバックアップを取ったり、システム状態を監視することができる。

7. レベル

ITSS:ITスペシャリスト育成 - [*]要素技術【レベル: 2】

ITSS:ITサービスマネジメント育成 - [*]セキュリティ管理基礎【レベル: 2】

ITSS:ソフトウェア開発育成 - [*]要素技術基礎【レベル: 2】

[*] ITスキル標準研修ロードマップにおけるコース群名